



JASDAQ

平成 28 年 11 月 11 日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 筒井 俊光
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
電話 03-5418-8128

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日付「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想の修正について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想の修正

(1) 通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	10,000	30	30	20	円 銭 7.58
今回修正 (B)	10,000	△200	△210	△290	△109.92
増減額 (B - A)	0	△230	△240	△310	—
増 減 率	0.0%	—	—	—	—
(ご参考) 平成 28 年 3 月期実績	9,076	△509	△529	△597	△224.37

(2) 修正の理由

売上高につきましては、ゲーム事業における受注案件規模やモバイル事業における端末価格等が変動要因としてあるものの、概ね前回予想と同水準となる見込みです。

営業損益及び経常損益につきましては、当初見込みにおいては、ゲーム事業については、年間通しての開発ラインの稼働率の維持及び運営タイトルの拡大、人材ソリューション事業については、通期での黒字化に向けた派遣者数の積み上げ、モバイル事業については、例年水準並みの業績見込

みにて、通期での黒字転換を予定しておりましたが、上期において、ゲーム事業については、受注時期が後ろ倒しになった案件や受注見込みであった案件の中止及び延期等が重なったことにより未配属原価(※)が想定を大きく上回って発生したことが、人材ソリューション事業については、派遣者数が計画値まで届いていないこと、モバイル事業については、au ショップ部門の業績は堅調に推移しておりますが、販売店部門において、MNP の沈静化から損益が大きく悪化したことにより、当初見込みより、上期赤字幅が拡大いたしました。

下期においては、ゲーム事業において、受注が遅れた案件については下期の受注を見込んでおり、また、新たに受注済みの案件の状況とあわせて、上期に生じた未配属原価については解消する見込みであること、人材ソリューション事業については、上期計画値までには届かなかったものの、第2四半期以降、着実に増加していること、モバイル事業については、販売店部門において、格安スマホ等の販売強化及び不採算店舗の統廃合を実施していくことから、上期の赤字拡大幅を解消するまでには至らないものの、下期は当初計画を上回る水準での黒字を見込んでおります。この結果、通期における営業損益及び経常損益は、それぞれ 200 百万円の営業損失、210 百万円の経常損失となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、290 百万円の当期純損失となる見込みです。

※未配属原価：開発プロジェクト収支に紐付かない開発人件費等の原価

以上